

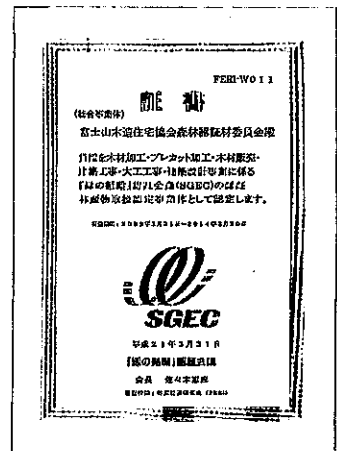
支部活動の紹介 富士山木造住宅協会
地域材認証—地材地消ブランド—

全建連傘下の支部・富士山木造住宅協会がこのほど地域産材の品質の信頼性を裏づける認証を受けました。認証は、「緑の循環認証会議 (SGEC)」が行うもので森林から伐採、製材、乾燥、プレカット加工、木材の流通、建築設計、施工にいたる一連の木材に関するトレーサビリティ (追跡可能履歴) を証明するものです。

認証の対象となった森林は日本製紙の富士山ろく林 (約七百畝) で、年間の算出能力は四千立方メートル前後。富士ひのき加工協同組合で製材加工し、総合管理マニュアルにしたがいプレカットされ、工務店がそれを使って住宅を建設するまでが証明の対象です。

この認証材のブランド名は「富士山・桧輝 (ふじさんひのき)」。これを使用して一定の要件を満たした住宅には

認証材使用の証明書が発行されます。地材地消とともに環境にも貢献できるというのがユーザーへのアピールポイントです。地域材のJAS認証がなかなか進まないなかで、それに代わる一つの試みとしても注目されます。またこの認証材を使用した長期優良住宅への取組みにも期待したいところです。この認証の取得は富士山木造住宅協会が地域のネットワークで信頼される住まいづくりを目指して森林認証材委員会 (渡辺泰敏委員長) を設置し、意欲的に取りくんだ成果です。木材の自給率を高め、地域の森林が植林・伐採・使用・植林の好ましい循環によって地球温暖化防止への貢献にもつなげていこうという取組みです。



地域材認証—地材地消ブランドの認定証